

熊本市で「九州災害情報共有システム利活用連絡会」を開催

九州総合通信局（局長:上原仁）は、11月19日（水）、メルパルク熊本において、「九州災害情報共有システム利活用連絡会」第1回会議を開催しました。

この連絡会は、地方公共団体の防災情報システム等に連携する、災害情報共有システム（Lアラート）を有効に活用し、災害時の避難勧告・指示など、地域の安心・安全に関するきめ細かな情報を、テレビ・ラジオなどの様々なメディアを通じて、地域住民に迅速かつ効率的に伝達する環境の整備を推進することを目的として開催したものです。



冒頭、主催者である九州総合通信局の上原仁局長から開会の挨拶を行い、議題である「九州災害情報共有システム利活用連絡会」設立に係る開催要綱（案）及び役員が承認されました。



第1回会議には情報発信者側から九州各県、県庁所在地の市及び政令市及びライフライン関係団体、情報伝達者側からテレビ、ラジオの放送事業者及びコミュニティFM、ケーブルテレビ関連団体など約70名の参加者がありました。



大分県 原田氏

会議では、総務省情報流通行政局の磯地方情報化推進室長及び一般財団法人マルチメディア振興センターの柴崎プロジェクト企画部長からLアラートの普及、動向について説明がありました。



宮崎県 池田氏

続いて、大分県危機管理監の原田氏から「大分県のLアラートの運用状況～避難情報連携システムについて～」と題して、県の避難情報連携システムの中で防災GISと連携する形でLアラートを活用している状況について説明され、また、今年の7月から運用を開始された宮崎県の危機管理課の池田氏から「宮崎県における災害情報共有システムの利活用状況」と題して、実際の運用状況について、運用中のシステムの操作画面等を示しながらLアラートとの連携について説明されました。

今後も引き続き関係者の情報共有や意見交換を行う場として会議を開催していく予定です。

お問い合わせ先：防災対策推進室（096-326-7334）